

操業されていたときは、生野銀山は日本の銀山の上位 5 つの一つであった。1868 年、フランス人技師たちの援助で近代化を行う明治政府に選ばれた最初の鉱山でもあった。南から姫路の港に走る、銀の馬車道(銀山の馬車道) (現在は銀の馬車道として知られている生野鉱山寮馬車道) の出発点として 1876 年に完成し、生野は日本の産業化への進展を象徴していた。

生野鉱山は 1,200 年以上の操業のあと、1973 年に閉鎖された。その後まもなく、訪問者が鉱山の歴史とさまざまな時代における発掘技術について学べるように展示物が旧坑道に設置された。鉱山入口の外側にインフォメーションセンターともう一つ江戸時代 (1603-1867) の精錬過程を示す建物がある。